

第8回 常陸大宮市地域公共交通会議

【日時】 令和7年8月26日（火） 午後2時00分～

【場所】 常陸大宮市役所 4階議会会議室

【会議次第】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

報告事項

（1） 常陸大宮市地域公共交通計画の評価等について 【資料1】

（2） 公共ライドシェア実証運行の進捗状況について 【資料2】

（3） お試し乗車券付きリーフレットの配付に伴う路線バスの運賃について
【資料3】

4 そ の 他

5 閉 会

常陸大宮市地域公共交通会議 委員名簿

(令和7年7月現在)

	氏 名	役 職 等
1	柿本 憲治	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）
2	小菅 達也	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）
3	関田 純一	茨城交通（株）水戸オフィス 運輸部 運輸担当課長
4	阿久津 修二	奥久慈交通（株） 代表取締役
5	櫻井 忠温	（有）山方観光バス 代表取締役
6	堀江 義彦	（株）美和交通 代表取締役
7	坂井 達也	那北運送（有） 代表取締役
8	高野 裕	（有）大宮タクシー 取締役社長
9	安畠 頼明	新星自動車（株） 営業部長兼太田・大宮営業所長
10	片野 克紀	山方ハイヤー（有） 代表取締役
11	古賀 重徳	一般社団法人茨城県バス協会専務理事
12	服部 透	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会専務理事
13	菅原 康弘	茨城交通労働組合
14	野上 光久	常陸大宮市区長会 会長
15	関 典由	常陸大宮市校長会副会長、常陸大宮市立大宮第二中学校 校長
16	工藤 博幸	茨城県立常陸大宮高等学校 校長
17	藺部 卓也	茨城県立小瀬高等学校 校長
18	一澤 孝夫	茨城県土木部常陸大宮土木事務所 道路管理課長
19	黒澤 正紀	大宮警察署 交通課長
20	鈴木 仁	常陸大宮市商工会 会長
21	諸澤 正行	常陸大宮市社会福祉協議会 事務局長
22	山田 稔	茨城大学 名誉教授
23	藤澤 充哲	東日本旅客鉄道（株）水戸支社 企画総務部 経営戦略ユニット ユニットリーダー
24	伊藤 豪人	茨城県政策企画部交通政策課 課長
25	大金 正一	常陸大宮市地域創生部長

<事務局>

	氏 名	役 職 等
1	大越 一彦	地域創生部地域創生課 課長
2	笹沼 貴之	地域創生部地域創生課 課長補佐
3	米田 聡美	地域創生部地域創生課 係長
4	横山 槇子	地域創生部地域創生課 主幹

○常陸大宮市地域公共交通会議設置要綱

平成21年3月2日

訓令第7号

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183号。以下「法」という。)の規定に基づき、地域における需要に応じた市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画(以下「交通計画」という。)の作成及び実施に関する協議を行うため、常陸大宮市地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様等に関する事項
- (2) 市営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通計画の策定及び変更に関する事項
- (4) 交通計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (5) 交通計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、交通会議の設置目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 交通会議は、委員35名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者から市長が委嘱又は任命する。

- (1) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局長(第8条第2項第1号において「運輸支局長」という。)又はその指名する者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者(第8条第2項第2号において「事業者」と総称する。)
- (3) 一般社団法人茨城県バス協会の代表
- (4) 一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会の代表
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (6) 市民又は利用者の代表
- (7) 茨城県常陸大宮土木事務所長又はその指名する者
- (8) 茨城県大宮警察署長又はその指名する者
- (9) 学識経験者その他の交通会議の運営上必要と認められる者
- (10) 市長が指名する市職員

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任をすることができる。ただし、特定の職により委嘱又は任命された委員の任期は、当該職にある期間とする。

2 委員に欠員が生じた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 交通会議に会長及び副会長各1名を置く。

2 会長は、委員の互選により選出するものとし、副会長は、会長が指名するものとする。

3 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。ただし、委員の委嘱又は任命後最初に開かれる会議は、市長が招集する。

2 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開催できない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決定し、可否同数の場合には議長が決定する。

4 会長は、必要があると認められるときは、交通会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

5 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

(協議結果の取扱い)

第7条 関係者は、交通会議において協議が調った事項について、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(秘密保持)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(運賃等協議分科会)

第9条 一般乗合旅客自動車運送事業の運賃又は料金(次項において「運賃等」という。)に関する事項について協議の必要が生じたときは、その都度、交通会議に運賃等協議分科会(法第9条第4項の協議会をいう。以下この条において「運賃協議会」という。)を設置し、当該協議を行うものとする。

2 運賃協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 運輸支局長又はその指名する者
- (2) 当該協議の対象となる運賃等を定め、又は変更しようとする事業者
- (3) 関係住民の意見を代表する者として市長が指名する者
- (4) 市長が指名する市職員

3 運賃協議会に分科会長を置き、市長が指名する。

4 運賃協議会の会議は、必要に応じて分科会長が招集し、議長となる。

5 第6条第2項から第5項までの規定は、運賃協議会について準用する。

(庶務)

第10条 交通会議の庶務は、地域創生部地域創生課において行う。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年訓令第12号)

この訓令は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成29年訓令第4号)

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年訓令第32号)

(施行期日)

1 この訓令は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この訓令の施行の際現に在職する常陸大宮市地域公共交通会議の委員は、この訓令による改正後の常陸大宮市地域公共交通会議設置要綱第3条第2項の規定にかかわらず、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。

附 則(令和2年訓令第13号)

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年訓令第14号)

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則(令和6年訓令第2号)

この訓令は、公布の日から施行する。

報告事項（１） 常陸大宮市地域公共交通計画の評価等について

基本方針 1 まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成

計画目標 1 地域の特性とニーズに対応した効率的な運行形態の構築

評価指標① 地域公共交通利用者数 【現状値（令和3年）】48,881人 → 【目標値（令和8年）】48,881人

取組	調査方法	達成状況（中間）・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
<p>■乗合タクシーの高度化 運行管理システムにA I システムを搭載したシステムを導入</p> <p>■運行支援 路線バス及び乗合タクシーの運行を支援するための補助金を交付</p> <p>■周知・PR ・公共交通関係のガイドブックや周知用チラシの配布 ・路線バスお試し乗車券のPR</p>	<p>運行事業者からの報告</p>	<p>実績 49,674人（令和6年）</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス (R5.10～R6.9) 21,463人 ・乗合タクシー (R6.4～R7.3) 28,211人 <p>-----</p> <p>分析 令和6年4月に公共交通の再編を実施し、路線バスの大幅な減便及び乗合タクシーの拡充を行ったが、令和5年度（49,273人）とほぼ同数で推移しており、目標値を達成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス (R4.10～R5.9) 26,861人 ・乗合タクシー (R5.4～R6.3) 22,412人 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスについては、再編時に利用者数の少ない路線を中心に見直しを行ったことで、効率的な運行が図られた。 ・乗合タクシーについては、平日の運行時間の延長や土曜日の運行を開始する等、運行内容を拡充したことで利用者数の増加に繋がった。 ・路線バスや乗合タクシーの運行が少ない土日祝日については、「交通空白」が発生している状況といえるため、その解消に向けた自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の実証運行による導入について十分に検討していく。

評価指標② 地域公共交通の維持に係る市負担額 【現状値（令和3年度）】183,331千円 → 【目標値（令和8年度）】163,500千円

取組	調査方法	達成状況（中間）・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
<p>■路線バスの見直し 路線バスの路線、系統、便数の見直し</p> <p>■乗合タクシーの高度化 A I システムの導入による効率的な運行形態の構築</p>	<p>令和6年度一般会計決算額</p>	<p>実績 181,620千円（令和6年度）</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス 74,566千円 ・乗合タクシー 107,054千円 <p>-----</p> <p>分析 令和6年4月の公共交通再編により、大幅に減便した路線バスについては減額となったが、乗合タクシーについては、運行日時の拡充、増車等により経費が上昇している。</p> <p>市負担金については令和5年度（181,170千円）とほぼ同額で推移しているが、目標値は達成していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス 104,046千円（令和5年度） ・乗合タクシー 77,124千円（令和5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスについては、令和6年4月の再編により運行に係る補助金が減額となったが、市来年度は更なる減額が見込まれるため、市負担額の軽減に繋がるものと考えられる。 ・乗合タクシーについては、運行内容の拡充に伴い増額となったが、乗合タクシーを基軸とした地域公共交通の一体的な見直しによるものであり、利用者数も増えていることから、費用対効果を検証するとともに、より効率的な運行を図ることで、市負担額を抑制していく。

基本方針2 誰もが便利でわかりやすく利用できる地域公共交通サービスの提供
 計画目標2 利用しやすい地域公共交通の環境整備
 評価指標③ 地域公共交通に対する利用者の満足度(市内公共交通に関するアンケート調査で「満足」、「やや満足」と回答した人の割合)
【現状値(令和4年)】32.9% → 【目標値(令和9年)】: 35.0%

取組	調査方法	達成状況(中間)・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
<p align="center"><u>※公共交通に関するアンケート調査を令和9年度に実施予定</u></p>			

<p>評価指標④ 高齢者運転免許証自主返納者数 <u>【現状値(令和3年)】179人(年間) → 【目標値(令和8年)】: 190人(年間)</u></p>			
取組	調査方法	達成状況(中間)・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
<p>■周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知用チラシの配布 ・市お知らせ版やホームページによる周知 <p>■返納促進</p> <p>運転免許証自主返納者に対する支援サービスの実施(常陸大宮市高齢者運転免許自主返納支援事業)</p>	<p>大宮警察署からの情報提供</p>	<p>実績 183人(令和6年度)</p> <hr/> <p>分析 イベント等での周知用チラシの配布や市報、ホームページによる周知などを行い、免許証自主返納の制度のPRを図っており、令和5年度(157人)から微増で推移しているが、目標値を下回っている。 ＜参考＞ ■市の「高齢者運転免許自主返納支援事業」交付者数 175人(令和6年度)、199人(令和5年度)</p>	<p>免許証自主返納の制度については着実に浸透していると考えられるが、引き続き、大宮警察署と連携し、チラシの配布や市お知らせ版などで周知を行い、更なる制度の浸透を図る。</p>

基本方針3 多様な主体による地域公共交通を支える仕組みづくり

計画目標3 地域公共交通の利用促進と意識啓発の実施

評価指標⑤ 公共交通乗り方教室の実施回数 【現状値（令和3年）】1回（年間） → 【目標値（令和8年）】：8回（年間）

取組	調査方法	達成状況（中間）・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
<p>■利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者と連携したバスの乗り方教室の実施 ・イベント会場での周知活動の実施 <p>■意識啓発</p> <p>公共交通に関する講座等の実施</p>	<p>実施件数の積み上げ</p>	<p>実績</p> <p>8回（令和6年度）</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通についての講座 ・介護予防教室等での公共交通のPR <p>分析</p> <p>高齢者層向けの集会等に出向き、乗合タクシーを中心とした利用促進を行い、目標値は達成できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座による公共交通の紹介のほか、介護予防教室などに出向き、乗合タクシーのチラシの配布や説明などを行い、高齢者層を中心とした利用促進を実施した。 ・バスの乗り方教室や市内高校などに向けたPR活動については実施できなかつたため、今後は若年層に向けた利用促進も実施していく。また、イベント会場などに出向き公共交通のPR活動を実施していく。

報告事項（２） 公共ライドシェア実証運行の進捗状況について

１．公共ライドシェアの運行概要

実施主体は常陸大宮市で、運行地域や運行日時を限定して、交通事業者に運行管理や整備管理等を委託し、安全対策を確保したうえで公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）の実証運行を行います。

※自家用有償旅客運送の必要性については、前々回会議（令和 6 年 12 月 16 日開催）において確認しました。

※運行内容については、前回会議（令和 7 年 2 月 18 日開催）において承認されました。

（参考） 実証運行の内容

区分	内容
①運送主体	常陸大宮市（代表者：常陸大宮市長）
②運送形態	自家用有償旅客運送（道路運送法第 78 条第 2 号） 自家用有償旅客運送制度の種別：「交通空白地有償運送」 ※乗降方式：ドアツードア方式
③運送の区域	常陸大宮市内（ただし、美和地域、緒川地域、御前山地域のいずれかの地域を発地または着地すること）
④運送の日時	土曜日、日曜日、祝日の 8 時から 17 時まで （12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）
⑤利用者	制限なし（市民、来訪者）
⑥ドライバー	15 名程度（市内在住または市内在勤の 21 歳～70 歳未満の方） ※ <u>第二種免許保有の方は年齢要件を緩和</u>
⑦車 両	15 台程度（ドライバー所有の自家用車、市所有車） ※1 日あたり 3 台程度が稼働
⑧運賃（収受する対価）	1 乗車につき 1,000 円 ※乗客人数に関わらず定額運賃
⑨支払方法	現金、クレジット決済、QR コード決済
⑩予約方法	電話、専用アプリ
⑪運行管理	交通事業者へ業務委託 （※ <u>事業者協力型として登録</u> ）
⑫実証期間	令和 7 年 10 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

（１）実証運行に係る業務委託

① システム導入業務委託

業務内容：実証運行に必要なシステム（配車システム・ユーザーアプリ・ドライバーアプリ・オペレーターツール）を構築するとともに、導入に向けた支援及び導入後の運用支援等を行う。

受 託 者：株式会社 博報堂（東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 1 号赤坂 Biz タワー）

契 約 日：令和 7 月 7 月 15 日

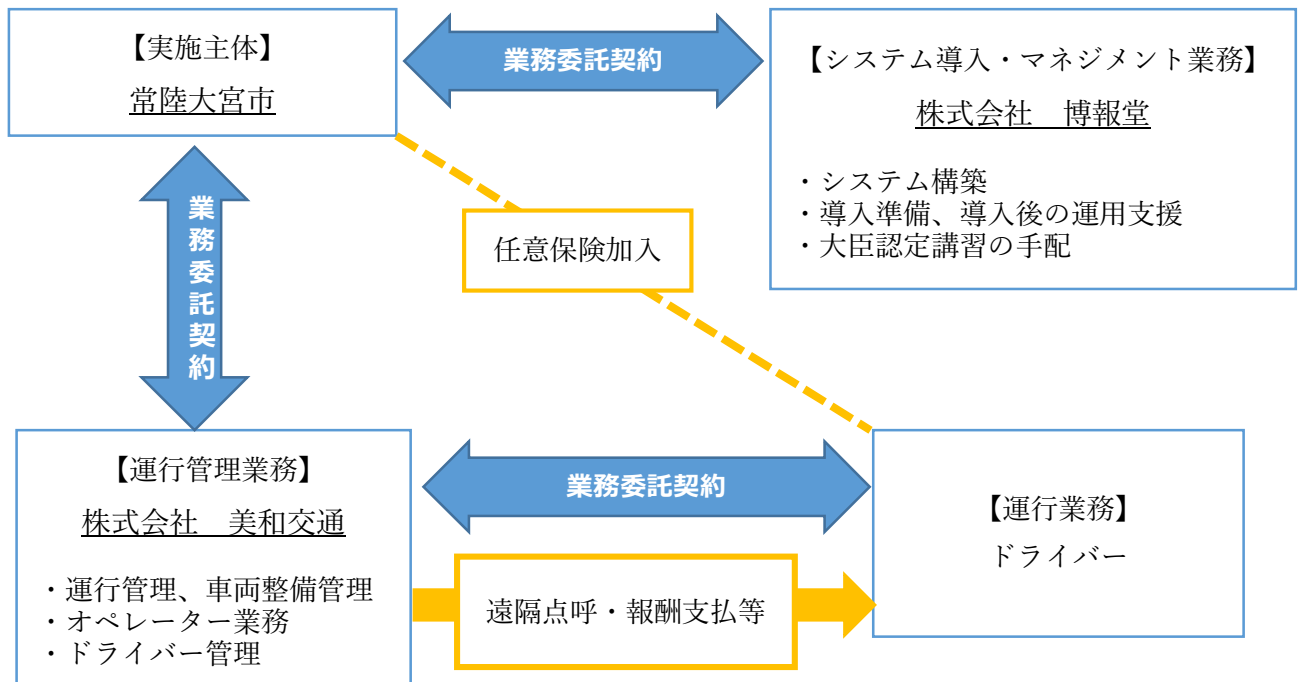
② 運行管理業務委託

業務内容：安全な運行を確保するため、実証運行に必要な人員（運行管理責任者等）を配置し、運行管理体制を構築するとともに、オペレーター業務やドライバー管理業務等を行う。

受託者：株式会社 美和交通（常陸大宮市鷲子 25 番地の 1）

契約日：令和 7 年 7 月 15 日

（2）運行体制



（3）ドライバー

① 報酬・手当等

【前回案】		【変更案】	
報酬	日額：10,400 円 時給：1,300 円	報酬	1 日：4,000 円 半日：2,000 円
手当	燃料費：15 円／km 通信費：100 円／日	手当	1 運行 1,000 円

② ドライバー募集状況

- ・最初の段階では一般公募はせず、市役所 OB 職員を中心に声掛けしたほか、現職員にも呼びかけを行った。
- ・登録申込状況は、10 名（令和 7 年 8 月 19 日現在）。
- ・今後、8 月 31 日に大臣認定講習を実施し、9 月にはシステム等の研修を実施する予定。

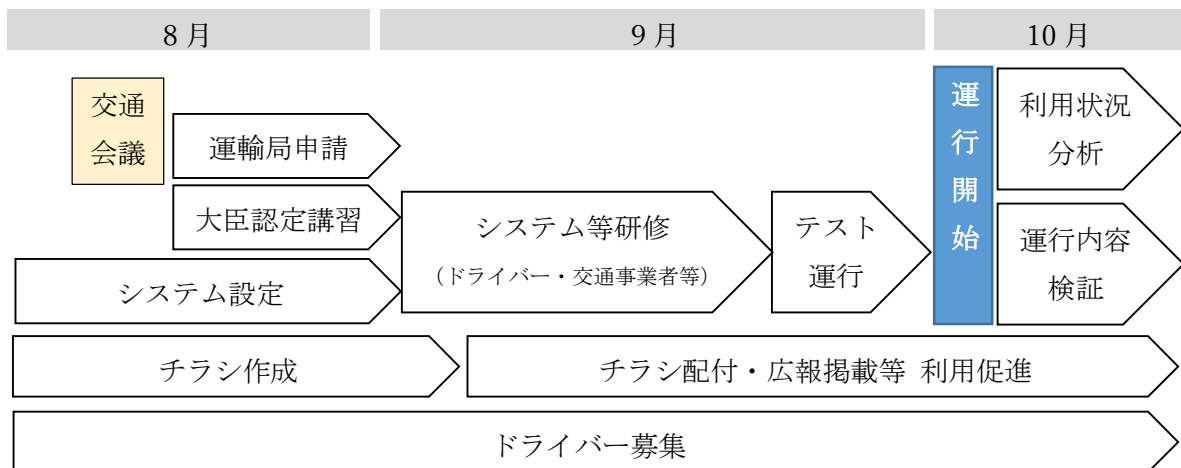
③ ドライバー保険

- ・市においてライドシェア専用の保険に加入する。業務中の事故等についてはドライバーが個人で加入している任意保険に優先して補償する内容となっている。
- ・補償内容としては、対人・対物賠償保険（無制限）のほか、人身傷害保険や車両保険も補償するものを検討中。

（４）使用車両

- ・原則、ドライバーの自家用車持込により運行する。ただし、緊急対応等のため、市公用車も車両登録するものとする。
- ・車両の要件としては、定員が４～１０人で後部座席を使用できるものとし、軽自動車も可能としている。その他、車検や法定点検（１２か月点検）を受けていることを条件としている。

（５）今後のスケジュール



報告事項（3） お試し乗車券付きリーフレットの配付に伴う路線バスの運賃について

中学 3 年生及び中学 3 年生相当に対するリーフレットの配布（令和 7 年度）計画（案）

1 趣旨・目的

中学 3 年生および中学 3 年生相当（高校受験を迎える生徒）を対象に、公共交通の乗り方や利用のメリットを紹介するリーフレットの配布及び、県バス協会の協力により県内の路線バスが 1 乗車につき 100 円 で利用できる「バスお試し乗車券」の配布を行い、進学先（受験先）を検討する際に通学手段を確認してもらうことで、受験生や保護者の公共交通利用に関する意識の醸成及び利用促進を図る。

2 バスお試し乗車券の内容

- （1）対 象 者：茨城県内の中学校及び義務教育学校に在籍する
令和 7 年度中学 3 年生（義務教育学校 9 年生）の生徒
- （2）有効期間：令和 7 年 7 月 19 日（土）～令和 7 年 8 月 31 日（日）※44 日間（予定）
- （3）使用方法：
 - ①リーフレットからバスお試し乗車券を切り離し、見学先の高校、乗降バス停、所属学校を記入
 - ②降車の際に、バスお試し乗車券をバス運転手に掲示後、整理券及び現金 100 円と一緒に運賃箱に投入（乗車券 1 枚につき片道 1 乗車の利用が可能）
 - ③バスお試し乗車券は、下記バス事業者が運行する路線バス（高速バス及び深夜バス除く）及び事業に協賛いただいたコミュニティバスで、ア～ウに該当する場合のみ利用可
 - ア．茨城県内での乗降
 - イ．茨城県内で乗車し、茨城県外で降車
 - ウ．茨城県外で乗車し、茨城県内で降車

<対象バス事業者>

関東鉄道(株)、茨城交通(株)、大利根交通自動車(株)、朝日自動車(株)、茨城急行自動車(株)、ジェイアールバス関東(株)、(株)昭和観光自動車、椎名観光バス(株)、(株)池田交通及び一部コミュニティバス運行事業者

3 配布対象…次の 220 校の中学 3 年生（義務教育学校 9 年生）に配布

- （1）公立中学校、義務教育学校・・・210 校
- （2）国立大学附属中学校・・・1 校
- （3）私立中学校・・・9 校

4 配布部数…約 25,000 部（現時点）

- （1）生徒及び保護者分…生徒 1 人につき 1 部（バスお試し乗車券 2 枚入り）
- （2）教師分＋予備分…各学校の中学 3 年生生徒数の 1 割または 10 部

5 実施スケジュール案

6月上旬以降、県交通政策課より各学校に配布。

	R7 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
R7 年度 実施				★乗合委員会 (県バス協会)	★活性化会議 幹事会	★活性化会議 総会	←→ 運賃協議会※ ←→ 意見募集※	★事業者から運輸局へ届出提出			
					リーフレット作成	★各中学校等へ送付 ★各中学校等にて生徒に配布					
						←→ バス乗り方教室※	←→ 実施			★実績報告	

※R5.10.1 改正道路運送法により、各市町村の運賃協議会における協議に先立ち、住民や利用者等の意見を募集する必要がある。

→新たに追加する路線（ルート）がある場合、各市町村の交通会議において、意見募集及び運賃協議会を実施する。

ただし、R5 年度に参画していた路線やコミバス（ルート）については、その R7 年度までにルートを変更した場合であっても、R5 年度に当該路線全域について届出しているため、R7 年度の協議は不要。

※R7 年度は、6月上旬から配布し、実施（夏休み前）までに各市町村にご協力いただき、お試し乗車券を使用した乗り方教室や教室掲示等により対象生徒への周知を図る。

6 実績

○平成 27 年度（平成 28 年春配布）から令和 6 年度までの配布状況

年度 ※1	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (R5 春)	R5 (R5 夏)	<u>R6</u>
作成 部数	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	34,000	34,000	33,000	29,000	<u>27,000</u>
実施 期間	28 日間	28 日間	26 日間	26 日間	26 日間	49 日間	49 日間	49 日間	42 日間	<u>41 日間</u>
学校数 ※2	123	123	122	121	120	145	146	147	267	<u>228</u>
新入生 数※2	26,735	26,235	25,870	25,307	24,742	23,674	23,850	23,972	24,878	<u>24,050</u>
利用 枚数	1,353	1,393	1,349	1,893	1,076	2,470	1,981	1,775	882	<u>935</u>

※1 令和 4 年度までは 3～4 月に実施していたが、令和 5 年度からは 7～8 月に実施。

※2 対象 令和 3 年度まで：新高校生のみ 令和 4 年度：新高校生及び新中高一貫校入学生

令和 5 年度から：中学 3 年生及び義務教育学校 9 年生（中学 3 年生相当）

令和 6 年度から：令和 5 年度の対象から中高一貫校及び特別支援学校等を除く。

お試し
乗車券付き!!



バス通にしたら
ガチで差がつく高校生活!!

友達
同じ方向の子と
仲良くなれるチャンス!



環境に優しい
毎日誰でも取り組める
小さなSDGs



規則正しい
生活が身につく

地域の活性化に
貢献できる



学習

通学のスキマ時間を
使った学習は
タイプ最高!



情報収集

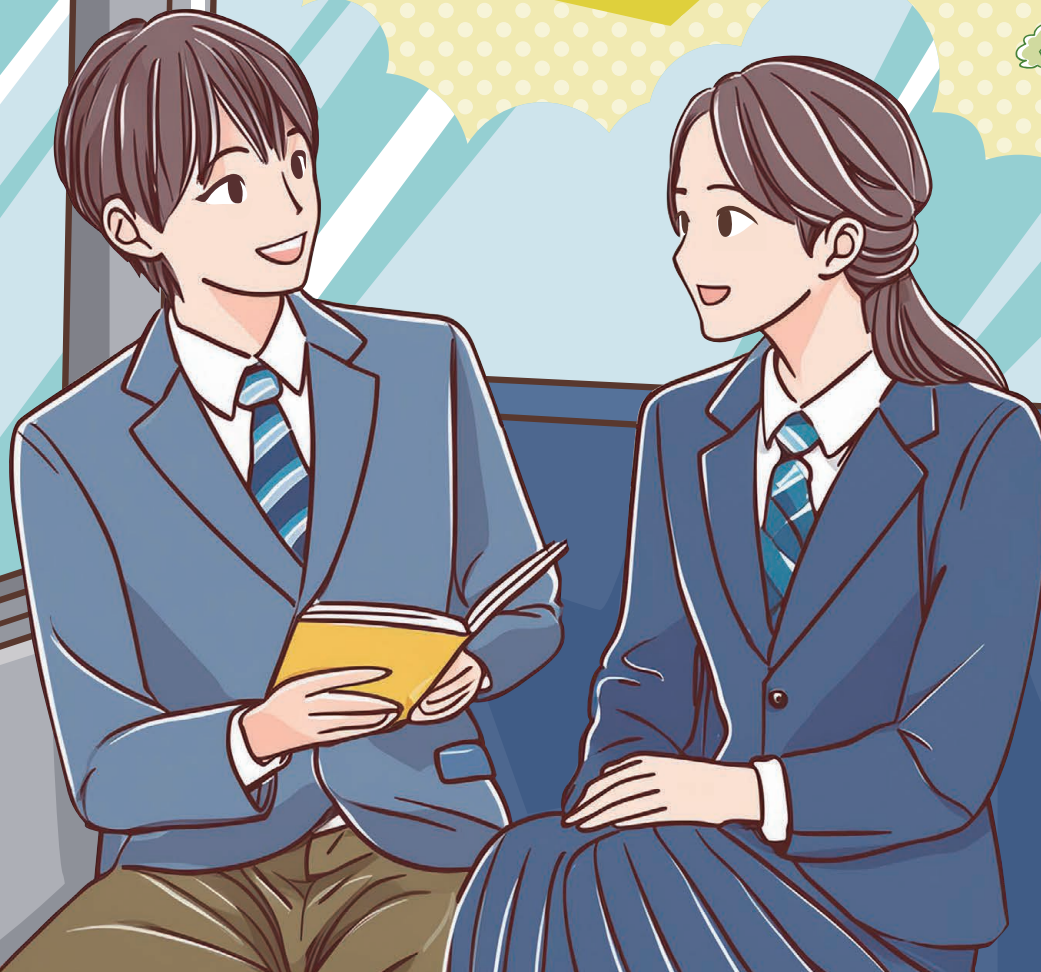
ゆっくり座って
SNSチェック&動画も
見放題!



エコ通学の ススメ



2025 夏



アンケートは
こちら



100円でバスに乗って、アンケートに答えよう!

[令和7年度中...] ご利用日: 月 日

ご利用する前に
ご記入ください

お試し乗車券

乗車バス停:

降車バス停:

通っている学校名:

通っている学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。

※お試し乗車券を使う際は、ICカードは使えません。

有効期間▶ 令和7年7月19日(土)~令和7年8月31日(日)

[令和7年度中...] ご利用日: 月 日

ご利用する前に
ご記入ください

お試し乗車券

乗車バス停:

降車バス停:

通っている学校名:

通っている学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。

※お試し乗車券を使う際は、ICカードは使えません。

有効期間▶ 令和7年7月19日(土)~令和7年8月31日(日)

見本

見本

お試し乗車券の使い方

Step 1 乗車前の準備

○以下のものを事前に準備してください。

- ・現金100円
- ・お試し乗車券リーフレット

※お試し乗車券を利用する際は、現金のみ使用できます。

○お試し乗車券を切り取ったうえで、必要事項を記入してください。

Step 2 バス停に着いたら

- 行きたい方面の時刻表をバス停で確認してください。
- バスが到着したら行き先表示を確認してください。

Step 3 バスに乗車したら

- 整理券発券機のランプが点滅したら、整理券を取ってください。
ただし、以下の場合はそのまま乗ることができます。
- ・始発区間で整理券が発券されない場合
- ・整理券発券機がない、またはカバーがかかっている場合



Step 4 バスを降りる前に

- バス車内前方のバス停名表示機を確認します。
車内放送で降りたいバス停が案内されたら近くにある降車ボタンを押してください。

Step 5 目的のバス停に到着したら

- お試し乗車券と整理券、現金100円を運転席横にある運賃箱の投入口に入れて降車してください。

Step 6 アンケートの記入

- スマートフォンなどで右二次元コードを読み込んで、アンケートを記入してください。



バスや鉄道で通学する メリットとは

バスや鉄道での移動中は、読書や音楽鑑賞、スマホ操作など、その時間を自分のペースで有効に活用でき、天候や季節を問わず、安全で快適に過ごすことができます。
また、毎日決まった時刻のバスや鉄道を利用することで、自然と規則正しい生活習慣が身に付くというメリットもあります。

定期券ならこんなにお得!

- 1ヵ月定期券は、通常運賃の、なんと※40%割引!
- 3ヵ月定期券は、さらに※5%割引になります。



- ・IC定期券はチャージをすれば、通常のICカードとしてもご利用可能! (定期区間外の乗降は残高から自動精算されます)

※バス会社によって取り扱いが異なりますので、詳しくは各バス会社にお問い合わせください。

【お試し乗車券を利用できるバス一覧】 ※一部利用できない路線がありますので、詳細はバス会社にお問い合わせください。

路線バス 高速バス及び深夜バスを除く

- 関東鉄道(株) ●茨城交通(株) ●大利根交通自動車(株) ●朝日自動車(株) ●茨城急行自動車(株) ●ジェイアールバス関東(株)
- (株)昭和観光自動車 ●椎名観光バス(株) ●ブルーバス(株) ●晃進物流(株) (桜東バス)

コミュニティバスなど

- 土浦市まちづくり活性化バス「キララちゃん」 ●常総市コミュニティバス「JOYBUS」
- 牛久市コミュニティバス「かっぱ号 通勤ライナー (上柏田・むつみルート、さくら台・みどり野ルート)」
- つくば市コミュニティバス「つくバス」 ●鹿嶋市・潮来市・行方市 鹿行広域バス「神宮あやめ白帆ライン」
- 潮来市・行方市「鹿行北浦ライン」 ●守谷市コミュニティバス「モコバス」 ●筑西市広域連携バス
- 筑西市地域内運行バス ●筑西市道の駅循環バス ●筑西・下妻広域連携バス
- 坂東市 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」 ●稲敷市コミュニティバス
- かすみがうら市・土浦市・行方市「霞ヶ浦広域バス」 ●かすみがうら市・土浦市「千代田神立ライン」
- 桜川市バス「ヤマザクラGO」 ●つくばみらい市コミュニティバス「みらい号」

各バス会社のお問い合わせ先は
こちらから



茨城県公共交通活性化会議

https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kotsuseisaku/chiikikoutsu/kotsu_ibaraki.html

【お試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り取り、乗車バス停、降車バス停、通っている学校名、見学する学校名を記入してください。
- この券は、令和7年7月1日(出)から令和7年8月31日(入)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車(乗車3人(又は乗車3人相当)の方のみ、この券は利用いただけます。
- ご利用される場合、バスに乗り込む際に、整理券が発券される場合があります。整理券が発券された場合は、整理券と現金100円を一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社のバス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(「お試し乗車券」が利用できるバス一覧参照)で、次の①～③のいずれかに該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

一般社団法人茨城県バス協会

【お試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り取り、乗車バス停、降車バス停、通っている学校名、見学する学校名を記入してください。
- この券は、令和7年7月1日(出)から令和7年8月31日(入)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車(乗車3人(又は乗車3人相当)の方のみ、この券は利用いただけます。
- ご利用される場合、バスに乗り込む際に、整理券が発券される場合があります。整理券が発券された場合は、整理券と現金100円を一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社のバス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(「お試し乗車券」が利用できるバス一覧参照)で、次の①～③のいずれかに該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

一般社団法人茨城県バス協会